反帝斗争をプロレタリア革命へ！　先進的学友は社会主義学生同盟へ結集せよ！

理論戦線 号外

67.7.11
社会主義学生同盟京大支部
東京派遣班

プロレタリア国際主義の下 安保政治決戦を斗おう！

1 国際ブルジョアジーの世界戦略の転換と日帝の世界戦略

①58年以降、米－EECを中心とする帝国主義間対立は、63年以降、米、仏、独、日等の国民経済の危機から、分業を垂直分業と水平分業へ転換せしめている。垂直分業は仏のアフリカ支配、日の東南アジア支配として現われ、米の戦後一元支配に対決している。

②垂直分業は不等価交換による搾取を通じ、民族ブルジョアジーを買弁化し、農民、プロレタリアートとの非和解的対立をもたらし、危機の後進国集中をもたらしている。

③後進国階級闘争は、米－ソの取引き体制による間接的抑圧＝平和共存体制を根底から動揺せしめている。ヤルタ体制＝平和共存とは、後進国階級闘争の激化に対し、それを配置している米軍により米－ソ核戦争の危機を作り出し、後進国階級闘争を米軍による直接抑圧ではなく、ソ連の「説得」によって間接的に抑圧するものであった。このことは、海外駐留米軍が階級闘争抑圧の為ではなく「自由世界を防衛する」力の均衡によって平和を守っているかの如き状況を作り出してきた。しかし、第一に、後進国危機が最早全面的に進行し、ソ連の「説得」によっては抑圧できない状態になっていること、第二に、米ソ核独占が崩壊し核戦争論に立脚した米ソ間のみの取引＝平和共存が不可能になっていること、第三には核戦争は人類全滅をもたらすが故に、逆に兵器としての意味をもちえず、使えない取引だけの兵器であることが増々明らかとなり、核戦争の危機を作り出して、ソ連に後進国階級闘争を間接的に抑圧させることが不可能になっている。であるが故に、米帝国主義は直接的な後進国階級闘争の抑圧＝侵略せざるをえなくなり、そのことは、ますます「自由世界の防衛＝力の均衡による平和」という世界戦略を後退せしめている。

②周知のように、49年中国革命へ至る東南アジア民族独立闘争は、国内に於ては民族ブルジョアジー－農民－プロレタリアートの連合、即ち、国民的統一戦線の下に勝利した。しかし、ヤルタ－IMF体制による危機の後進国への集中は、帝国主義－民族ブルジョアジーの買弁化と農民－プロレタリアートの階級対立を激化させ、従来の国民的統一戦線を崩壊させている。これが、ベトナム、インドネシア、インドを頂点とする後進国情勢の一般的性格である。ベトナムの如く、農民－プロレタリアートの側からの革命であれ、インドネシアの如くブルジョアジーの側からの反革命であれ、性格は変らない。中国は、ここにおける革命の側を代表するが故に、国際政治の焦点に、米－中・後進国対立となる。

④東南アジア階級闘争の激化は、アメリカの国家財政の軍事費を膨張させ、公共投資を減少させ、その結果、民間設備投資の低下＝生産力の低下をもたらし、対EEC関係でアメリカの相対的優位性を後退せしめている。従って米帝の世界戦略は、日帝を東南アジアに登場せしめ、米－後進国内日帝の対抗関係を含みつつ、対EEC関係における地位の回復と、再度の国際政治における支配権を確立しようとしている。

㊅日本帝国主義は、このような世界戦略の転換に伴い、かつての帝国主義の戦略から、日韓条約を経て新しい段階をもたらしつつ、資本輸出－垂直分業－植民地支配し、これをメルクマールに、日本帝国主義の東南アジアに於る国際的政治、軍事的力としての登場という世界戦略を提起している。日本帝国主義が、東南アジアブルジョアジーとの結合下に、戦後世界政治体制の限局面、戦争という最高の形態での米－中国・後進国対立の中に登場するということ、これが日中平和共存の内容である。

2 国際階級闘争の新たな質

①国際ブルジョアジーの世界戦略の転換は、国際階級闘争の新たな質を形成している。

②後進国に於ては、国民的統一戦線が崩壊し、民族ブルジョアジーの帝国主義との結合対、農民－プロレタリアートの階級対立を形成している。

③この国民的統一戦線の崩壊を構造的にもつ中国は、中間地帯論の破産を媒介にして、民族ブルジョアジーとプロレタリアート・農民の階級対立を激化させ、毛林派と実権派との闘争を形成した。実権派の路線は、後進国に於る国民的統一戦線に立脚した反米闘争を展開し、国内では、民族ブルジョアジーからプロレタリアートへの権力平和移行を追求するものである。（インドネシア共産党の敗北）。毛林派の路線は、明確に農民、プロレタリアートのブルジョアジーに対する闘争を全面化させ、米帝国主義との対決へ発展しようとするものである。後進国の国民的統一戦線の崩壊と中国第二革命に於る毛林派の勝利は、民族的ブルジョアジーの階級闘争が、ブルジョアジー、帝国主義との対決を通じて永続的にプロレタリア革命へ発展せざるをえないことを示している。

㊁アメリカに於ては、国民経済の危機が黒人運動と、労働者のストを発生せしめ、世界戦略の後退＝「自由世界の防衛」＝力の均衡による平和という民族と国家の共同性の統治原理＝イデオロギー支配を解体させ、反戦闘争の昂揚をもたらし、社会政治闘争を形成している。

㊄EECに於ては、仏の中小ブルジョアジーを基盤とするルレー＝ドゴーリズムの破綻が特別権限要求法案に象徴され、ブルジョア独裁のむき出しの支配は、ゼネストを形成せしめている。独では、国民経済の破綻は東独との関係における反共という統治原理を崩壊させ、大連合を形成させつつも、人民戦線が大連合のブルジョア独裁化は非常事態法案にあらわれ、ドイツ帝国主義打倒の新しい階級闘争を形成させている。

㊅日本においては、60年代の国民統治原理＝国民所得の発展が個人の生活水準を守るということが崩壊し、市民的統一戦線を崩壊させ、諸階級、諸階層の独自的要求がブルジョアジーとの非和解性を形成し、公的暴力は行政執行権力の末端化の行使を不可避にしている。

3 プロレタリア国際主義

①後進国人民の武装闘争、中国の第二革命、アメリカの反戦闘争、ヨーロッパのNATO反対・反戦斗争、日本の反戦斗争の、国際的ブロックの形成が必要とされている。それは、国際ブルジョアジーの世界戦略の転換によるブルジョアジーの内的矛盾を拡大し、危機の同時的、永続的進行に対し、世界革命を準備するための第一の条件である。

②このようなブロックは、国際ブルジョアジーの戦略を暴露し、対決し、追いつめて行く、スローガンをもたなければならない。それは民族自決のスローガンである。垂直分業が形成する国際ブルジョアジーの支配国の獲得合戦が、民族と民族を分断し、対立させ、支配することによって、支配国からの離脱の自由を剥奪する。民族自決のスローガンは、この帝国主義の支配を暴露し、そこに貫徹されている世界戦略と対決し、追いつめることのスローガンであるが故に、国際プロレタリアートを国際ブルジョアジーから分離させるスローガンであるし、万国のプロレタリアートのスローガンとなりうる。これはヤルタ体制＝平和共存が危機を後進国に集中する現在、特に重要であり、日本が米中対決の中に登場する日米安保が東南アジア人民の政治的、軍事的抑圧である時、日帝の世界戦略を暴露し、対決し、追いつめて行き、かつアジア的排外感情に対立を克服するスローガンである。

㊅世界戦略を暴露し、弱い環を促進させ、世界戦略を粉砕して行く斗いの発展の方向は、当然自国政府の打倒の斗いである。

4 安保政治決戦

①以上述べて来たように、日本帝国主義の[illegible]ブルジョアジーの攻撃の[illegible]具体的方針を提起しているブルジョアジーの[illegible]自己の世界戦略の転換に[illegible]戦争と対立の中に[illegible]という形態での[illegible]後進国[illegible]国民統治原理の[illegible]は、帝国主義軍隊の形成である。核武装－対後進国派兵－対国内治安出動＝その強化＝徴兵制＝による国民軍隊の帝国主義的民族の要求は、これを承認させるためのブルジョアジーの手において行政執行権力の肥大化、大学入学等々統治権力の強化がはかられ、ブルジョア独裁が実力的に強化されている。公安条例－小選挙区制等として、かけられている。かつまた、民族の主張が、収奪の強化として行なわれる。帝国主義国家の政策として、社会保障、労働[illegible]等々を一切犠牲にするという経済独裁の主張で、まさしく資本主義とブルジョア独裁の主張である。が民族をかかげて主張する具体的進行は帝国主義軍隊の形成であり、その力と国民統治の力を強化するための陰謀であり、世界戦略を主張すること、これこそ70年安保である。世界戦略の転換と、国際階級闘争の新しい展開の中で、これまでこれを主張しようというのである。これこそ日本ブルジョアジーの攻撃の総体である。

⑪さて、体制転換の中において、大衆はいかなる状況におかれるのか。国内改良主義、国際平和主義、プロレタ

（書き込み）
㊥
「上部の意思より下部の戦斗性を」
Bへ日本の戦斗性へ
国内階級化
戦術と組織問題

安保の総括 ← 戦斗的相合主義　個別地区等国民のわ闘争 → 全人民的政治斗争（統一戦線）　反－全　斗う大衆組織の形成（砂川阻止斗争 岸乙斗争）　70年安保決戦へ
市民的政治斗争 — 小選挙区制 執行権力の肥大化 → 実力斗争と直接民主主義
＝ ナショナリズム → 民主主義の打破 — 国際主義 ベトナム反戦斗争
ハノイ平和(?) — 反戦斗争と結合（ベトナム・中日問題）　8.6反戦集会
＝ 国際情勢

ごうとをるす産プ併アミれ歳代歳トこわにあで形勾
の反父と全主口の祭！、住で性のとれ政るも成想
テ神聖ニ盛葬レ上表のをはあが形、わ泊。以すを
一個とろ程のタにー氏れ覚る必成即が的権約る排
ば形すのさ実リ、資族はに。聖とちの国カさフ外
反成る組財限ア世キー文などとい、国家ミれアま
リへ。債らを盛界主ブルっのさうソ家の争らミ義
最きこの形にに一命のミョ担的ろ的イ作座時りムし
ルからの力も戦革義ルごて目れ目ツを対のもズム
吸まよ成すら先！物ョヤわ意時意工らにに代でへて

に約で毎ネ戦ど形の箸のに年63イ㊂うガとをのみ
世し反策をー夜で針社れ手在年三年現発ころ功失潮
指ち県プ液はヨ東ー提と青ね！学機ホ存在生ハ大る産信
針び軍口ースル心を布起は風ばで国関全ー、性に衆。同、を持
か象し資ルと合川し列の国にのに学校全のよ盟ここと
く、ー夕手ミし理里に恵ろよ県は里ど挙考る織の社っ
あ、ー二に会幸を潮新ごらは治産集島戒に。区権学て
ら、戦が主義周読在お第の祖国空集のよ、しの年に働
ず、統、義的の形慶ョミー蔵きを、空産るを
、の労的の形慶ョミー蔵きを、空産るを
有ネ働ネ必成気に朝つ新学を、ゆソ手ス心。首
名働ネ必成気に朝つ新学を、ゆソ手ス心。首
版敗何号の一。表しへ風こ外はツ　をー慶午反至
版敗何号の一。表しへ風こ外はツ　をー慶午反至
ナ国に政的記矢矢十タとあ中す全ー家良業北ニンル
イ線自岩園生差戦ニリはるる夜れ面ニの糸のしナヨ
ニナヨア報社。帝の、ー小私国の会と学に体戦てこ秩
エアルに米　成ヨ全ソう占ヨ抵的発のてレ線ョの一義部
工権約軍係身受諸ズア外。、た的ニ全で平、ニアヨ
トカ化命とノのムイ々々全在権政言面あ粗にョシ
ナをしに全社小内でンの国有済治う髪り利とナー
全体、にく公ア省ありタ言的同主量と膚、用をリの
ヘ力性ま、点性あいナアお国ごレ、即沿国原ム優
すす生ま、点性あいナアお国ごレ、即沿国原ム優
対ま全ソと自、内政。君ョレ魔でりわーレ国改産脱統
。ど守う　ろ中青和治戦約街に機う再事、祖は新更の

オを能ここイ党しいと産アをニミを作感教国ご
命準産れれエにてこ主口朔ョ粉機、を！す
で衛のこガトル委て義し府ア砂主70展松約
ある時と政をち場自をタし然し義年開占、
る心、治形伏せか実リ、裁、、なし、二
。ャに世主成かしら現ア性！民日保、降
々選門数すれめさす然所過核組砂社砂ご自
の影験でる九、、る救準年ー風ふ失ー
反災終あこソと受をー命主ズ主なの教
岩戦のろとサのとのよー義ル義る謎働
。

砲を机全アの小か保作団と業粉国ド屋にと庁ヤ数協米所機祥原ヨはに
しヨた国メ作うの小林ロの心得廃礼主お府界ル験ハ、端建の水争なよ所権に
よいお七リ艦〃全国ム日行全し孝ば義いろ、教々論せや、つ七事がを、年集
う、田ネカの国斗争ネオ対は犯い統口てく維ぐ米のつ社ニ、れし反国
〃ダ拡ス芸べ保占ト間ト反方は、里灯のこう勝体撃ーせ泉自ョ大原く、てのせ
厚バスに働、平〃なしいろ喪る前分社し不もろ、撃撃
地砲トろ吾タ的中形々る論題、国解へのムは。タ〃失周
戦ー体う鷹ら法後成リ。争程府際、の国でやニら口日
をヨ制。統に都をの国二場の、一大連国く反勝米ク新
ヨえを統に都をの国二場の、一大連国く反勝米ク新
をよ